

ハグしちゃう！ 2022

令和3年度 園長だより 12号

予想していたとはいえ、まさかこんなに急激に新型コロナウイルスの影響を受けるとは思いませんでした。ただ・・予想はしていたので、2学期の終わりは出来る限りの対策をしながら、色々な経験を！と思いきや様々な事を実施でき、今更ですが、本当に良かったと思っています。3学期は、こうなると年長さんが無事に卒園出来るよう、卒園式が行えるよう状況が落ち着くことを願うのみになっていました。ただ・・お別れ会はこの年長さんだけとは絶対に行いたいと思っています。希望・・です！

振り返れば2年前の今頃から新型コロナウイルスの脅威に見舞われ、年少さんだった最後の学期を自粛と恐怖の中、過ごしてきました。亡くなってしまう方が多く報道され、なにもかも未知で恐怖に包まれた日々でした。年長さんをみんなまで送り出す、上手下手なんて関係なく、ただただ楽しい時間を全園児で過ごしていたお別れ会の豊かさを今、心から感じています。ですから！ご家族の皆様への参加は見込めず、ひげダンスも出来ませんが・・何とか、年長さんとお別れを笑って過ごしたく考えています。

まん延防止措置期間を午前教育にすることは苦肉の策でした。例え午前教育にしても、安全が保障されるわけではないからです。昼食の時間はお母さん方が作ってくれたお弁当を開けワクワクする時間です。栄養を補給するだけの時間ではありません。また学校のように黙食の徹底はとても厳しいです。そして、今は幼稚園ですら、皆さまのご理解を得て、対策が可能と判断しました。お仕事をお持ちの皆様には先にお知らせしましたように対応をお願いいたします。私自身も子育てしながら仕事を続けてきましたので大変さは十分理解しつつ、働く事を選択した親としていろいろ思う事がございます。改めましてよろしく願いいたします。

さて、楽しかった冬休みの様子が一杯書かれているカレンダーを拝見しました。年末のクリスマスのエピソードやお正月遊び、スキー・スケート、かまくら作り等々沢山の楽しい様子が伝わってきて、コロナに配慮しながら工夫に満ちた楽しい冬休みであったことが伝わってきます。また、室内活動が増えた事で文字や教習を習得したこともお知らせ頂きました。そして、ちょっとダラダラしました！なんて正直なメッセージも(笑)ご家庭で過ごした日々は子ども達の心に残ります。

始業式は外でジャングルジムの上からお話したのですが、幼稚園生活にギアチェンジして教育時間は短縮されますがより工夫して過ごして参ります。

私たちの冬休みの研修の中でも、コロナの影響による子ども達の経験不足や愛着形成の欠如傾向が指摘されています。ハイタッチすら消毒！消毒！・・製作活動の見本教材には折り紙コーナーでマスクの折り方やマスクに絵を描こう！なんていう取り組みが紹介されて困惑しています。ただ否定ばかりするよりも、こうなったら、面白くなっていくしかないかな？なんて思う事もあります。この幼児期に経験して欲しい、人の顔色を見るといふ実はとても大切な経験をマスクがあることで、今までよりも乏しくなったと感じています。

人の顔色をみる！という何となく悪いイメージに感じてしまいますが、大人と子供であれば、あっさりや怒られるな！と感じることは、成長の証です。赤ちゃんは始めは親の顔色なんて読めませんから全力で泣いて自分の欲求を發します。それが顔色と共に声色・肌感・空気感などを感じながら安心したり困らせたりしながら、人としての感情を豊かにしていきます。そして、それは幼児期もとても重要なことで、今度は幼稚園等の集団生活で他人の中でまた新たに身につけていくことです。

4月を思い出して下さい。今を見て下さい。子ども達は着実に先生やお友達との関りが上手になってトラブルも変化しているのではないのでしょうか？そう！変化です。集団生活でトラブルがないなんてことは絶対にないですし、トラブルこそ成長の宝庫ですからね！マスクはないほうがいいけど、それを今、不満として言っても全く変わらないので、この環境の中で、あとふた月の令和3年度を過ごして参りましょう。

さて・・始業式早々私事で休園になってしまい、本当に申し訳ございませんでした。その際、幼稚園の管理スペースにいる事をお伝えしたのですが、状況が変わらないですよ。実は私と功太郎は幼稚園の管理スペースに滞在しております。幼稚園の老朽化に伴う管理を学園から指示され、暴風雨・緊急連絡対応等がすぐできるようにしております。この冬季間は朝は5時にホールのストーブの点火をし、凍結対応の為、おトイレに夜間ストーブを設置している為、漏電・火災の早期発見となるよう待機しております。また日々の緊急連絡対応がすぐしでも迅速に行えることも目的としております。

あと1年でこの任務はセコムにほとんどを委ねる事になりますが、幼稚園にいる事は私たちにとって普通の事で、管理室がなくなることが寂しいくらいです。私が勤務しはじめた昭和には管理人さんが住んでいて息子さん二人も住んでいたんですよ。その管理人さんが定年となり息子さんも社会人になり、私たち家族が住むことになりました。職場と家庭が一緒なのは私にはありがたい環境でした。当時は預かり保育システムはなかったもので、みんな14時降園で、天沢小学校に入学した卒園生が「掃除手伝うので、ホールで遊ばせてください！」と、学校の帰り道に寄って先生方と掃除をしてホールで遊んで、そろそろ寄り道時間には限界という頃に、何食わぬ顔でお家に帰る、そんな事を思い出しました。今は時代背景がずいぶん違いますが、携帯電話もなく、地域の大人が見守り・叱り・褒め・・なんとなく幸福感が高く感じてしまいます。

私が新人の時に初めて幼稚園にコピー機がきました。それまでの先生方は(横山先生も)「ガリ」を切ってクラスだよりを書いていました。もはや「ガリ」を説明する事が困難です(笑)京子先生が新人の時に初めてファックスがついて、「きゃー！紙がどっかにいった～」と慌てた姿が今も懐かしく明確に思い出されます！便利になって助かることが今後も沢山ふえることと思います。幼稚園ももっとICT化を図る予定です。ただ、人の心の繋がりや丁寧な人と接して頂くことはどんなに便利な時代になっても失いたくないものだと思っています。

今年は例年以上に忙しくなりそうです！
心と心を繋ぐ、ハグしちゃうおう！

室蘭幼稚園 園長 小倉真弓美